旧第五高等学校化学実験場
（国指定重要文化財、化学遺産第 025 号）
復旧支援のお願い

旧第五高等学校化学実験場は本館（現五校記念館）とともに 1889 年（明治 22 年）に建設され、戦後の新生熊本大学（昭和 24 年設立）に引き継がれて理学部が南キャンパスに移転するまで、理学部の講義と実験に使われました。大学博物館である現在の本館（年間入館者数 15,000 人）と共に、これまで数多くの卒業生に慣れ親しまれてきました。旧第五高等学校赤門、本館並びに化学実験場は 1969 年（昭和 44 年）8 月に国の重要文化財に指定され、さらに化学実験場は 2014 年（平成 26 年）3 月に日本化学会より化学遺産に認定されました。本実験場には演示実験をしながら講義もできる階段教室や、排気設備としては当時最先端のドラフトが現存（日本最古）しています。また、この階段教室は本館とともに NHK 大河ドラマ「坂の上の雲」（司馬遼太郎原作）のロケ撮影が行われたことでも有名です。しかし、平成 28 年 4 月 14 日と 16 日の二度にわたる震度 7 の熊本地震により、壊滅的被害を受けました。本館を含め復旧には 10 年以上かかると言われており、また、復旧工事には重要文化財のため文化庁とも相談しつつ耐震補強も含めての工事となり、計り知れないほどの費用がかかる見通しです。そこで、理学部同窓会としても縁あるこの化学実験場の迅速な復旧と復元に少しでも協力したいと考えております。つきましては、平成 28 年理学部同窓会名簿と同窓会報発行に合わせて、旧第五高等学校化学実験場復旧寄附金を募りたいと存じます。出費多難の折で大変恐縮ではございますが、本趣旨をご理解いただき同封の振込用紙（または，ゆうちょ銀行・一九九店・当座・口座番号：01990-8-4833・口座名義：熊本大学理学部同窓会への振込）にてご寄附をお願い申し上げます。

なお、熊本大学でも熊本大学基金（http://www.kumamoto-u.ac.jp/kikin/fukkou）の中に「熊本地震復興事業基金」を設け、寄附をお願いしております。この基金の中に「五高記念館周辺環境整備事業」があり、ここに化学実験場の整備も含まれています。しかし、これは本館（現五校記念館、大学博物館）の復旧が中心ですので、化学実験場の復旧のための直接的寄附を募る必要があります。また、日本化学会でも「熊本地震災害復興支援募金」で旧第五高等学校の化学実験場等施設の修復のための募金が開始されましたが、こちらは日本化学会会員に特化した募金となります。
（http://www.chemistry.or.jp/application/donation/#kumamoto）

平成 28 年 9 月

理学部同窓会
会長　西野　宏

地震前（平成 28 年 3 月 26 日撮影）

地震後、煙突崩落寸前（平成 28 年 5 月 31 日撮影）

旧第五高等学校化学実験場
（国指定重要文化財、化学遺産第 025 号）
復旧支援のお願い

旧第五高等学校化学実験場は本館（現五校記念館）とともに 1889 年（明治 22 年）に建設され、戦後の新生熊本大学（昭和 24 年設立）に引き継がれて理学部が南キャンパスに移転するまで、理学部の講義と実験に使われました。大学博物館である現在の本館（年間入館者数 15,000 人）と共に、これまで数多くの卒業生に慣れ親しまれてきました。旧第五高等学校赤門、本館並びに化学実験場は 1969 年（昭和 44 年）8 月に国の重要文化財に指定され、さらに化学実験場は 2014 年（平成 26 年）3 月に日本化学会より化学遺産に認定されました。本実験場には演示実験をしながら講義もできる階段教室や、排気設備としては当時最先端のドラフトチャンバーが現存しています（日本最古）。また、この階段教室は本館とともに NHK 大河ドラマ「坂の上の雲」（司馬遼太郎原作）のロケ撮影が行われたことでも有名です。しかし、平成 28 年 4 月 14 日と 16 日の二度にわたる震度 7 の大きな熊本地震により、壊滅的被害を受けました。本館を含め復旧には 5 年以上かかる見通しで、また、復旧工事には重要文化財のために文化庁とも相談しつつ耐震補強も含めた工事となり、莫大な費用がかかります。そこで、理学部同窓会としても縁あるこの化学実験場の迅速な復旧と復元に少しでも協力したいと考え、平成 28 年理学部同窓会名簿発行に合わせて旧第五高等学校化学実験場復旧寄附金を募って参りました。その結果、200 万円を超える寄附金が理学部同窓生および関係者の方々から寄せられました。誠にありがたく、御礼申し上げる次第です。しかし、復旧費用はまだまだ必要な状態ですので、本寄附事業を継続して行いたいと存じます。出費かさむ折で誠に恐縮ではございますが、本趣旨をご理解いただき同封の振込用紙（または、ゆうちょ銀行・一九九支店・当座・口座番号：01990-8-4833・口座名義：熊本大学理学部同窓会への振込）にてご寄附をお願い申し上げます。

なお、熊本大学でも熊本大学基金（http://www.kumamoto-u.ac.jp/kikin/fukkou）の中に「熊本地震復興事業基金」を設け、寄附を引き続きお願いしております。この基金の中に「五高記念館周辺環境整備事業」があり、ここに化学実験場の整備も含まれています。しかし、これは本館（現五校記念館）の復旧が中心ですので、理学部同窓会としましては化学実験場の復旧のための直接的寄附を募る必要があると考え、本事業を継続して行うこととしました。

平成 29 年 5 月

理学部同窓会
会長　西野　宏

地震前（平成 28 年 3 月 26 日撮影）

地震後、煙突崩落寸前（平成 28 年 5 月 31 日撮影）